

## 河川基金助成事業

### 「都会の川に親しみ、ふるさととなる川へ」 報告書

助成番号：2023 - 7111 - 067

東京都 江東区立 つばめ 幼稚園  
園長 神谷美和子

2023 年度

## 様式9

[学校部門 幼稚園・保育所・認定こども園等]

[概要版報告書]

助成番号	助成事業名		施設名	
2023-7111-067	都会の川に親しみ、ふるさととなる川へ		江東区立 つばめ 幼稚園	
所在地	東京都 江東区	対象河川名	小名木川・横十間川・江戸川	
対象園児	年長(24人)、年中(17人)		活動時間	20時間
河川教育の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、<u>自然環境を大切にする幼児</u>を育むために、幼児期に自然とたっぷりと関わり心を動かす原体験の充実を目指す。</li> <li><u>身近な川に親しめる</u>ように、積極的に地域の川に出向き生き物を探しや川遊びを通して、自然の不思議さ、面白さ、難しさなどの様々な事象に触れる機会をもち、<u>自然への関心</u>を高める。</li> </ul>			
子どもに育成したい能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的好奇心</li> <li>思考力</li> <li>自然を大切にする心</li> <li>探究心</li> <li>共感力</li> <li>想像力</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>言語能力</li> <li>表現力</li> <li>互いの良さを認め合う態度</li> <li>生命尊重</li> <li>安全意識向上</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>判断力</li> <li>地域に親しみを感じる気持ち</li> </ul>			
評価の観点	<p>表 現：幼児が気付いたことを言葉、造形、身体表現など、<u>自分なりの方法で表現</u>することができたか。</p> <p>言 葉：幼児の心が動いたり感動したりしたことを、<u>友達や保育者に話そう</u>としていたか。<u>共感</u>してもらう喜びを味わっていたか。</p> <p>人間関係：友達と互いの感じ方や考え方、行動の仕方に関心をもち、<u>互いを認め合うことで関心</u>を深めることができていたか。</p>			

## 学習活動の内容と成果

## 【内 容】

- ・5月…横十間川の和船に乗り、疑問を船頭さんに尋ねた。地域の川、川の周囲の植物を講師と観察した。
- ・9月…①横十間川で地域の釣り講師を招き、ハゼ釣りを行った。②バスを貸切り、江戸川に行き、干潟でシオマネキやサワガニ、トビハゼを捕まえた。捕まえたサワガニは園で飼育することにした。③小名木川に行き、大きな魚（クロダイ）の動きや鳥を観察した。
- ・10～1月…園外保育を行う度に、小名木川を観察し、発見したことや驚いたこと、考えたことを伝え合った。

## 【成 果】

- ・和船体験…乗船し、川を近くでゆっくり見ながら、船頭さんから川と自然現象、船のしくみ、地域の川の歴史などの話を聞くことができた。より知りたいという気持ちから疑問を持つことにつながった。
- ・釣り…地域の川に様々な魚が暮らしていることを知った。また、釣った魚の動きや部位について気付いたことを伝え合っていた。川に対しての魅力やまだ分からぬことがたくさんあることに気付く。
- ・干潟…干潟の歩きづらさや実際に動いているものを手で掴む難しさ、体で感じる実体験は貴重であった。干潟に棲む生き物を観察し講師の先生から生き物の特徴も詳しく教えてもらったこと、園に持ち帰り毎日観察することでカニが餌を食べているところや目の動きに驚くなど身近な生き物への関心が深まった。
- ・小名木川のクロダイ…川の大きな魚（クロダイ）に疑問をもち、テレビの取材も受けた。関心をもつことで、親子で川の様子を見ながら登園する幼児が増加した。

河川教育を通じて見られた子どもの変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことを言葉にすると、講師の先生や保育者が応えてくれる様子を近くで見てきたことで、多くの幼児が<u>疑問や感じたことを言葉にする嬉しさ</u>を感じることができた。</li> <li>・友達の言葉や行動に関心をもつようになったことで、それぞれの違いに気付き、<u>互いを認め合える</u>ようになった。</li> </ul>
--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 支援者等（複数記入可）

保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関、博物館、資料館等	関係団体（漁協、農協）等		企業		その他
支援の概要	専門家：生き物が観察できる場所を知らせ、こどもたちが興味をもてるような言葉をかけてくれた					
成果発表	成果作品			発表方法		
	写真			園内に掲示		

## 今後の課題・展開

- ・江東区は川に囲まれた場所である。今後も、面白さや不思議さなどを感じたことを言葉に表しながら人とつながり、都会の川の魅力や、川の歴史（江戸の文化・都会の川と川に棲む生き物の変遷など）も伝えていきたい。

## 様式16

[学校部門] 共通

[活動状況写真]

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-067	都会の川に親しみ、ふるさととなる川へ	江東区立つばめ幼稚園



学習活動名：川の周辺の散歩

日付：年間を通して

見られた子どもの姿：

小名木川にいる大きな魚のクロダイやボラ。ボラはよく川を飛びはねている。

4月頃、大きな黒い魚（クロダイ）の群れがザーッと泳いでいるのを見付け興奮しているこどもたち。クラゲや稚魚なども発見し喜ぶ。

「今日は、よく見えるね」「お日様が当たっているからかな」

「あっ！クロダイ！」「小さい魚がいる！」

「ゴミがあるよ」「この川は、どこまで続くのかな？」

「海かな」「ブラジルだと思うよ」

日々、なにげなく見ている川だが、意識して観察することで、より想像力が膨らんでいると思われる。

9月頃になると、クロダイの様子を以前より見ており、言語表現も豊かになっている。

「大きくて、縞々がある」

「カタツムリみたいに、ゆっくり泳いでいた」

「草の下に隠れていた」

年間を通して、興味深く川を覗き込むようになり、「今日は見えやすいか」「どこにいるか」など、様々な予測ができるようになっている。

習活動名：和船体験

日付：2023年5月24日

見られた子どもの姿：

幼稚園から徒歩10分ぐらいの和船乗り場。船頭さんが「何でも聞いて！」と言ってくださり、こどもたちは、「はい！」と手をあげて、聞いてみたいことを質問し始めた。

船のこと、川のこと、雨のこと、魚やクラゲのこと……質問が止まらなかった。船頭さんは、それに対して、船のしくみや、川や雨のサイクルについてなど、こどもたちに分かりやすく、丁寧に答えてくださいました。

(以下、幼児の質問)

- ・この船はどうやってつくったの？
- ・どうして船から落ちないようになっているの？
- ・水(川)の下には魚の骨があるの？
- ・雨はどうやって降ってくるの？
- ・どうやって、ボートを漕ぐの(カレ)は作られているの？
- ・くらげって、どうやって生きてるの？



- ・どうやって船の名前をつけたの？
  - ・(川の) 水はどうやってきれいになるの？
  - ・どうやって魚は泳いでいるの？
  - ・くらげは骨があるの？毒はあるの？
  - ・地球が存在したときに、水がどうして存在したの？
  - ・どうやって、雨が降っても (川が) あふれないの？
  - ・魚はどうやって生まれたの？
- など、想像を膨らませながらのいろいろな質問がでた。  
自分の質問にしっかりと答えてもらい、喜ぶこどもたち。  
船頭さんに感謝の思いも伝えた。



#### 学習活動名：名人とハゼ釣り

日付：2023年9月12日

#### 見られた子どもの姿：

ハゼ釣りをした。釣りをしたことがある幼児は数名で、ほとんどが初めての体験であった。

釣竿が動くのをじっと待ち、釣れた魚はピチピチ動くのを観察した。「ハゼを触るとヌルヌルするよ」「ハゼがかくれんぼしているみたいだね」「少し元気がなくなってきたね。どうしよう」など思いが表れ、友達と言葉で気付きを確かめ合っていた。手で触れる、近くで見ることなどで感覚による新たな発見もあった。

#### 学習活動名：自然de遊ぼう（干潟遠足）

日付：2023年9月14日

#### 見られた子どもの姿：

プロナチュラリストを講師に招き、干潟の生き物を触り、よく観察した。

干潟に入ることが初めての幼児がほとんどで、足を取られる子も多かった。初めは足元を気にしていたが、干潟にいる様々な生物が穴の中や泥の中にいるのに気付くと、必死になって探す様子が見られた。生き物の動くスピードの速さに驚きを隠せなかった。

## <遊びのプロセス>～カニって口があるの！？



○期 間 9月 14 日 (木) ~ 9月 21 日 (木)

### ○きっかけ



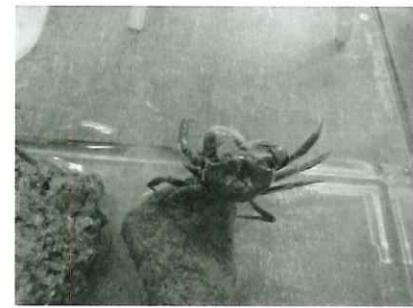
河口に住む生き物たちと触れ合うために、遠足へ行った。



「(カニ・トビハゼが)動いた！」  
見つけたら捕まえたい！



プロナチュラリストの佐々木洋先生  
から話を真剣に聞くこどもたち

環境	遊びの広がり
<p>玄関の生き物コーナーにカニを置き、誰もがいつでも見られるようにした。</p>  <p>園長先生が用意した「ザリガニの餌」も近くに置いてある。</p>	<p>9月19日（火）</p> <p>S児「カニって口がないよね。」</p> <p>教師「なんでそう思うの？」</p> <p>S児「だって、何も食べないから。」</p> <p>教師「園長先生がザリガニの餌を食べないかな？って用意してくれたからあげてみようか。」</p> <p>あげてみると、見向きもしない。</p> <p>S児「何も食べないな…」</p>
	<p>9月20日（水）</p> <p>今日も様子を見に来る S児</p> <p>園長「この間、カメの餌をあげたら食べたんだ。あげてみようか。」</p> <p>カニが食べた！</p> <p>S児「あっ！食べた！食べた！」</p>
 	<p>9月21日（木）</p> <p>S児「昨日、ごはん食べたの見れたんだ！」</p> <p>教師「じゃあ、口があったんだ！」</p> <p>S児（眉間にしわを寄せながら）</p> <p>「ううん、口はまだ見れたないから…」</p> <p>「今日もあげてみようかな。」</p> <p>「あっ！食べた！食べた！」</p> <p>喜んでいると、年中組もたくさん集まって来る。</p> <p>年中「どこどこ？？見せて！」「ぼく見えない！」と騒がしい。</p> <p>S児「いちご組がいると（騒がしいから）食べないな…」</p> <p>年中組がいなくなり、また食べ始めたカニを見て</p> <p>S児「でも…口が見えないな…」</p> <p>教師「虫眼鏡で見えるかな？」</p> <p>S児「虫眼鏡取ってくる！」</p>
	<p>S児「でも口はどこだ？どこも動かないから口がわからないな…」</p> <p>K児「何？どうした？」</p> <p>S児「口を見たいんだ」</p> <p>K児「それなら、ネマキちゃん（シオマネキ）をこうやって持つて…。ほら、これならよく見えるでしょ」</p> <p>カニを持ち、S児に近づけていく。</p> <p>S児「あっ！動いた！ここだ！小さく動いているの！ここが口なんだ！」</p>

## 様式1 7

[学校部門]

[実施箇所位置図]

助成番号	助成事業名	学校名		
2023-7111-067	都会の川に親しみ、ふるさととなる川へ	江東区立つばめ幼稚園		
主な実施箇所	利根川水系江戸川・人工河川水路小名木川・運河横十間川			
<p>※環境学習を数カ所で実施している場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。</p> <p>※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。 (縮尺は1/50万～1/100万程度)</p> <p>※活動場所が「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。</p>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">江戸川・干潟 干潟の生き物観察</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">小名木川 クロダイ・サギ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">横十間川 和船・ハゼ釣り</div>				
助成事業の主な実施箇所				